

(別記)

## 外ヶ浜町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約 24%で、転作作物に占める面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでおり、乾田直播技術等に取り組む作付面積を拡大し、低コスト、省労働力化を実現していきたい。

また、農家の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少が見られるとともに、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中、水稻作付面積の維持が課題となっている。よって、更なる水田集積が必須となると考えられる。

そのほか、大豆については、作付を拡大し、複合経営を前進させていきたい。

### 2 作物ごとの取組方針等

集落営農組織の機能強化や、担い手農業者の農地利用集積の強化による不作付水田を活用した大豆の作付や高収益作物の定着、新規需要米の作付拡大の推進を図る。

蟹田地区においては、大区画ほ場での効率的作業体系の構築により、新規需要米及び大豆の作付拡大や高収益作物の導入を目指す。

平館地区においては、担い手農業者への農地集積を図るとともに、集落営農の推進を図ることにより、大豆及び新規需要米の作付拡大を推進し、不作付水田の解消や耕作放棄地の発生防止に務める。

#### (1) 主食用米

売れる米作りの徹底によって米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や出荷業者の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

#### (2) 非主食用米

##### ア 飼料用米

食用米の需要減が見込まれる中、農業者が蓄積してきた稲作の多収技術や既存農機械を有効に活用できる飼料用米の生産拡大を図る。

又、飼料用米の本作化や生産拡大にあたっては、県設定の産地交付金を活用しながら多収品種の導入を推進し、生産コスト低減の取組を促進するため、乾田直播技術等の生産性向上技術の導入面積拡大を推奨し、地域で設定するコスト低減の取組を上乗せ支援することにより、取組面積の維持拡大を図る。

- イ 米粉用米「取組なし」
- ウ 新市場開拓用米「取組なし」
- エ WCS 用稲「取組なし」
- オ 加工用米「取組なし」
- カ 備蓄米「取組なし」

#### (3) 麦、大豆、飼料作物

麦については、取組なし。

大豆については、県設定の産地交付金を活用しながら土地利用集積等による低コスト化に加えて、弾丸暗渠等の排水対策、土壌改良により増収・品質向上に努めるなど、より生産性を高める取組に上乗せ支援し、複合経営化を促進する。

飼料作物については、生産者と需要者（畜産農家）の耕畜連携により飼料作物の供給を受けた家畜の排せつ物から生産された堆肥を、飼料作物を作付けする又は作付けした水田に施肥する資源循環の取組を、産地交付金を活用して推進する。

#### （４）そば、なたね

当町にそばの加工団体があり、需要が見込まれることから、県設定の産地交付金を活用するとともに、排水対策などの生産性と品質向上の取り組みに上乗せ支援し、産地化を進める。

なたねについては、取組なし。

#### （５）高収益作物（野菜等）

別紙「助成対象作物一覧」に記載されている作物を地域振興作物とし、特に「にんにく」については、当町産は高品質であると評価されていることから、重点品目と位置づけ、産地交付金の支援により、排水対策等の生産性向上の取組を推進し、安定生産・安定供給による産地化を目指す。また、その他の振興作物も、排水対策等の生産性向上の取組を推進し、地元観光施設における販売で消費者評価を高め、生産拡大を目指す。

#### （６）畑地化の推進「取組なし」

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	86.0	121.5	121.8
飼料用米	246.8	239.6	239.8
米粉用米	0.1	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	48.0	48.2	50.0
飼料作物	33.8	34.1	34.5
そば	56.3	52.5	57.0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	5.1	5.8	6.9
・ にんにく	1.8	2.5	3.0
・ 野菜	3.1	3.1	3.4
・ 花き	0.2	0.2	0.5
・			

#### 4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標値	
				現状値	目標値
1	にんにく	にんにく作付助成	にんにく取組面積	(29年度) 1.8ha	(32年度) 3.0ha
2	大豆	生産性向上メニュー 取組助成(大豆)	大豆取組面積 大豆単収	(29年度) 48.0ha (29年度) 38kg/10a	(32年度) 50.0ha (32年度) 150kg/10a
3	飼料作物	資源循環助成	飼料作物作付面積 資源循環取組面積	(29年度) 33.8ha (29年度) 0.9ha	(29年度) 34.5ha (32年度) 1.6ha
4	飼料用米	生産性向上メニュー 取組助成(飼料用米)	飼料用米取組面積 飼料用米単収	(29年度) 246.8ha (29年度) 526kg/10a	(32年度) 239.8ha (32年度) 596kg/10a
5	そば	生産性向上メニュー 取組助成(そば)	そば取組面積 そば単収	(29年度) 56.3ha (29年度) 30kg/10a	(32年度) 57.0ha (32年度) 40kg/10a
6	野菜	地域振興作物助成	野菜取組面積	(29年度) 3.1ha	(32年度) 3.4ha
6	花き・花木	地域振興作物助成	花き・花木取組面積	(29年度) 0.2ha	(32年度) 0.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。

#### 5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり